

クリスマスケーキ向けの業務用出荷開始 愛知県西尾市でイチゴ出荷がピークを迎えます

西尾市の施設イチゴ生産者で組織するJA西三河いちご部会(鈴木正裕部会長)では、クリスマスを間近に控えた12月上旬、イチゴ出荷のピークを迎えます。

特にクリスマスケーキ用の需要が高まる最盛期の12月中旬には約22万パック(55トッ)を出荷見込みで、業務用イチゴの出荷は12月10日から開始しています。

同部会は規模・生産量ともに愛知県内でトップクラス。近年は農業用ICTツールの導入や、スマート農業実証への取り組みを通して、栽培技術の高度化と生産性の向上をめざしています。



J Aあぐりセンター小牧での選果・出荷風景
生産者が輪番で品質検査を行っています

業務用イチゴ出荷 専用トレイで傷み防止・高品質出荷



業務用イチゴ出荷の専用パックはやわらかい素材のトレイを使用し、イチゴを置く場所に窪みを作ることで荷傷みを防いでいます。

業務用イチゴの階級はケーキに適した2L・L・Mの3種。レギュラーパックと比較して7分着色で収穫し、早期の出荷を行っています。

同部会は、クリスマス直前の需要期に向けた出荷に力を入れており、安定した出荷量と衛生・品質両面での水準の高さが大手製菓業者から高く評価されています。

■作柄 (12月上旬時点)

夏の育苗期から9月の定植時までの高温や10月の曇雨天が続き日照が少なかった影響を受け、11月末までの出荷量は例年より少ないが前年比ではやはり多く推移。現在、畠内の状況は実や花がしっかりついており12月中旬までに例年以上の出荷量となる見込み。

■取材対応日■

【日時】12月17日(水)16時30分

【場所】JA西三河あぐりセンター小牧出荷場
(西尾市吉良町小牧梶見堂35)

※あぐりセンター小牧での出荷作業は、
16時30分から17時30分頃まで行う予定です

JA西三河
すごいぜ、西尾の農業。

【お問い合わせ・ご連絡先】
JA西三河（西三河農業協同組合）

〒445-0073 愛知県西尾市寄住町下田15

企画室企画課 広報担当：尾形

TEL：0563-56-5214 担当者携帯：070-1414-6818

HP：<https://www.ja-nishimikawa.or.jp/>

Eメール：kikaku@ja-nishimikawa.com



《JA西三河ホームページ》
その他のニュースリリースは
こちらからご確認いただけます

西尾市のイチゴ生産

～「いちごスクール」修了生参入、スマート農業への挑戦も～

西尾のイチゴ生産の特徴

JA西三河いちご部会では章姫・紅ほっぺの2品種に加えて、試験品種「愛きらり」を生産。品種を絞ってロットを確保しつつ、新品種の栽培情報も産地の知見として蓄えています。

クリスマスケーキ用の需要が高まる12月上旬に一番果のピークを迎えるように栽培していることが特徴。8月頃にイチゴの苗に夜冷処理を施して花芽を分化させ、秋からの収穫・出荷を可能としています。

農業用ICTツールの活用にも積極的で、若い世代を中心に33人が導入。ハウス内の温度や湿度、CO₂濃度を見える化し、最適なハウス環境の構築をめざしています。



スマート選果システムを使用した
パック詰め作業

JA西三河いちご部会によるスマート農業への取り組み

JA西三河いちご部会では令和5～6年度にかけて、「JA西三河いちご部会における生産から販売のデータ駆動一貫体系の実証」と題した施設イチゴを対象とするスマート農業実証事業に取り組みました。同部会の生産者とJA西三河、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構などでつくる「日本をリードするJA西三河いちご部会におけるスマート農業実証コンソーシアム」によるもの。

【実証事業】①ヒートポンプと送風ダクトを利用した局所環境制御と高効率暖房機の導入、②スマート選果システムによる雇用労働力・労働時間の低減、③画像処理による出荷量予測

新規就農者向け栽培講座「いちごスクール」

JA西三河いちご産地振興委員会は令和元年6月より、施設栽培イチゴの就農支援プロジェクト「いちごスクール」を開校しています。

栽培技術を西尾市内のイチゴ生産者が直接指導する実務研修と、JAおよび県による経営研修を両軸に、農家として自立するための知識を身に付けます。またJAによる農地取得・補助金申請のサポートも行い、新規就農者・Iターン就農者などを専業農家まで育成します。現在は7期3人が受講中。

令和元年の開校以降の6期で累計19人がスクールを修了しており、全員がJA西三河いちご部会に加入。生産者の世代交代および産地の維持拡大に向けた取り組みを軌道に乗せています。

詳しくはJA西三河ホームページをご確認ください⇒



【生産者部会情報】

名称：JA西三河いちご部会

出荷量：930トン（令和6年度実績、共選出荷のみ・業務用出荷含む）

部会員数：80人 耕作面積：約17.4ha 流通先：愛知県・石川県・新潟県

収穫期：10月下旬～6月（最盛期：4月頃）

（全国の生産概況）

全国のイチゴ出荷量：149,900トン

愛知県のイチゴ出荷量：10,500トン（栃木、福岡、熊本に次ぐ4位 東海地方では1位）

データ：農林水産省 作況調査（野菜）令和5年産統計表